

# 総科とは何か？



今回私たちは、総合科学部、そして他の学部の学生の方々に、「総合科学部」についてのアンケートを実施しました。

「総科、総科って言うけど、『総合科学部』ってどんなところなの？」

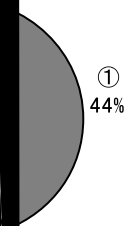
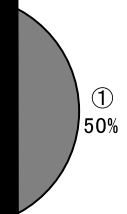
総合科学部の学生に限らず、他の学部の学生たちも、少なからず抱いているであろう疑問。

この記事が の の っ い

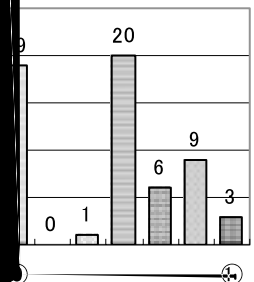
アンケートの実施にあたり、アンケート配布に協力してくださった方々、そして貴重な時間を割いてアンケートに答えてくださった方々に、この場を借りて深く御礼申し上げます。

『飛翔』編集委員一同

ですか？



①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧	暇	
⑨	自由な	
⑩	文系っぽい	
⑪	理系っぽい	
⑫	文系、理系に分け	20
⑬	就職が厳しそう	6
⑭	教養を学ぶところ	9
⑮	その他	3



⑮内の数字は回答数

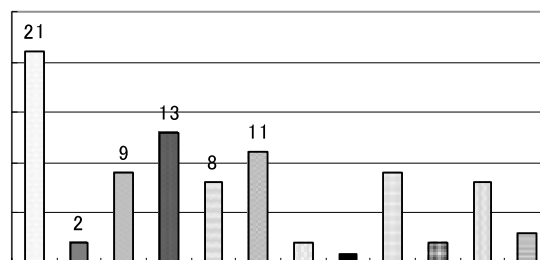
その他の意見には、

「暇な人と、忙しい人の差が大きそう」「何をやっているのかわかりにくい」「建物の構造がわかりにくい」「浅く、広く、というイメージ」というものがありました。

質問4：自分の学部と比べて、総合科学部はどのような学部だと思いますか？（複数回答可）

①	良く分からない	21
②	うさんくさい	2
③	1つの分野を深く学びつつも、多角的な面から学ぶことが出来る	9
④	属している先生方の専門が豊富	13
⑤	学ぶ範囲が広く、各分野において深く学べない	8
⑥	専門性がない	11
⑦	忙しそう	2
⑧	暇そう	1
⑨	自由な感じ	9
⑩	楽しそう	2
⑪	就職が厳し	8
⑫	その他	3

質問4



※

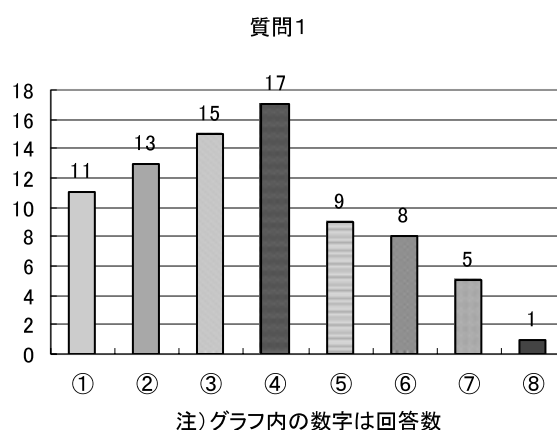
「思想が過激」「大学運営の際の発言力が弱そう」「内部で細かく別れているイメージ」というものがありました。

◇回答して下さった学部の学生さんの人数◇

## ○総合科学部の学生○（34名の方から回答を頂きました）

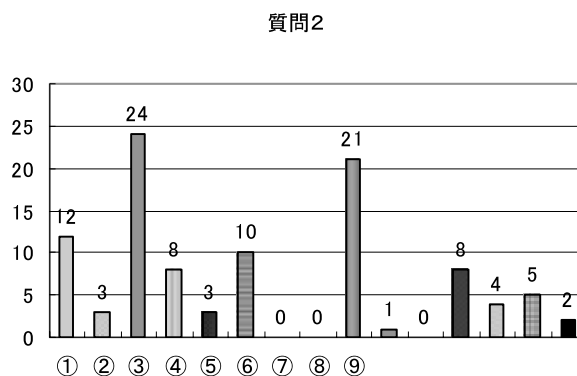
### 質問1：総合科学部を選んだ理由は何ですか？（複数回答可）

①	総科なら入ってからもやりたいことを見つけられ	11
②		13
③	プログ あった	15
④	色々なことがやりたかった	17
⑤	他学部だと専門に縛りがあり、色々学べないと思っ	9
⑥	人（先輩、親、先生など）から勧められた	8
⑦	なんとなく	5
⑧	その他	1



### 質問2：総合科学部に入学する前の、総合科学部のイメージはどうでしたか？（複数回答可）

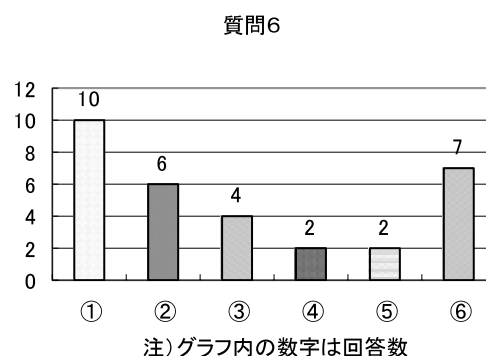
①	良く分からない	12
②	うさんくさい	3
③	1つのことだけではなく、様々な分野が学べる	24
④	専門性がない	8
⑤	属している先生方の専門が豊富	3
⑥	楽しそう	10
⑦	忙しそう	0
⑧	暇そう	0
⑨	自由な感じ	21
⑩	文系っぽい	1
⑪	理系っぽい	0
⑫	文系、理系に分けにくい	8
⑬	就職が厳	4
⑭	教養を学ぶところ	5
⑮		2





質問6：自分が現在考えている「総合科学部」について、自由に書いてください。

①	学べる学	10
②	自分の心持で何でも出来るか、何も出来ないかが決ま	6
③	仲が良い・楽い	4
④	「総科らしさ」とは良くわからない	2
⑤	.	2
⑥	その他（無回答を含む）	7



※その他の回答には、

「プログラムの内容がどのくらい専門的か分からない」

「教職の科目も増え、より総合科学部らしくなった」というものがありました。

※質問5、6については自由記述回答のため、類似した回答をまとめて集計しています。

## ◇総評◇

他のところ、か、またと  
 かりました。ただ、結局のところか、またと  
 まり認知されていないことが見てとれます。自分の学部と比べて「先生方の専門が豊富」である反面「専門性がない」という回答も、他学部生の率直な印象なのでしょう。

一方の総科生も、総合科学部に対して、「様々な分野が学べる」ことを期待しているようです。それでは、ひとつの専門分野を深めるという意識は低いのでしょうか。総科を選んだ理由について、「進みたいプログラムがあり」かつ「色々なことがやりたかった」という人がおり、専門性を追究しつつ広く学びた

総合科学部は、総科生からも、他学部生からも、広く色々な分野を学べるというイメージで見られているようです。一方、専門性の深さに関しては、考え方にばらつきがありそうです。果たして総科生は、「広さ」と「深さ」を同時に追究することができるのでしょうか。それは畢竟、「自分の心持」次第といえそうです。

（担当 18生 五十嵐 太郎、伊東 、  
 19生 寺澤 潤哉、中村 洋平 ）



い。

ディレクタントというのは、つまり素人という意味です。ぼくはこれを物好きと訳したいと思います。物好きであってほしい。

“少なくとも自分の責任において、自分自身の認識を高め、視点を増やすために、そうでなければならぬのである。でなければ、専門分野を超えて存在する全ての問題において無知な人間にとどまり、場合によっては総じて野蛮人の域を出ないのである。しかしディレクタントといえども、様々な対象を愛する者であるからには、人生を歩む間に、他の種々の領域においても、真に自己を深めることが可能”

それは皆さんの努力次第だと言っているのです。

総合科学部と総合科学研究科の学生諸君に、これから引き継いでやってもらいたいのは、他でもない。なでる分野において専門家になく、学問を極めてくれ。その分野では、誰とでも対等に伍し

なってくれ。あるいは社会人になってくれ。しかしそれだけでは、野う立場に新しい科学的成果が出てきても、それは一市民としても、不十分でありすぎる。そこで、彼に言わせれば、他の分野ではディレクタントになれ。そうすればその分野について、くは分からなくても、それがどういうものであるかが分かる。これを、後にぼくは重点的にジェネラリストと呼んだ。どこかに重点があつて、他のところではジェネラリストだという意味です。学生さんに

をしすかと言った。広いと浅いと思う。違う違う、広く深くやれ。君た

つてやったんだ、年寄りでも。次に大事なことは、自分の核がありますね。で、そこから出ていくわけだ。すごく上手くいこともあるかもしれないけれど、こうやって出ていきます。

ほとくの場合だったら、

があつて、法医学はこの辺だな、歴史学があつて社会史があつて、それから犯罪心理学がどれくらいか

色々調べていったわけだ。で、こういうことをやって初めて、こちら側の人と出会える。ここに専門家がいます。この人にを請えば良い。

その結果、自分が万能ではないということ、いやというほど思い知らされるでしょう。文学研究では、まあ恥ずかしくもない仕事をしてきた。だけど、法医学者

垂れるしかないんですね。自分のできることは高々知れている。そこで、誰の協力が必要か、ということが分かってくる。

そういったセンス——そのことが分かる——というのは何だと思えますか。想像力なんです。想像力、イメージーション。妄想なんですよ、いろんな。こういうことをやってみたいな、こういうことやらなさいかな、ああ、でも自分だけの力じゃだめだ、どうするかなあと考え

して無秩序なものなんです。それを社会に役立たせるためには、ただ妄想を妄想としておいてはいけない。妄想は人間を動かすエネルギーになるのだが、しかし無秩序なんです

が何を必要としているか、誰に必要とされている。ためには、理路整然とした思考が必要なんです。

では、妄想を秩序づけるのは何か。教養だ。養を積むことだ。何が、なん

が良いと言ったものはとりあえた教養がみなさんの妄想を秩序づけて、他の人と手を組ませる。

これが一人総合科学と協同総合科学、大きな仕事に、大きな一人一人が、行き届かなくても良いから、一人総合科学者を目指してほしい。そうしたら協同総合科学、大きな仕事に、大きな希望をぼくは語っているわけです。

(担当 18生 五十嵐 太郎)